

Fukushima Hope Tourism

ホープツーリズム



ホープツーリズムとは



ふくしまオンリーワンの新しいスタディツアー

世界で唯一「複合災害(地震・津波・原子力災害)」を経験した場所、福島県。ホープツーリズムは、複合災害の事実、教訓、復興への挑戦から得た学びから、これからの持続可能な社会・地域づくりを創造するプログラム。

見る



施設見学やフィールドワークから、ありのままの姿を体感する

聞く



様々な立場や分野で復興に挑戦する人々との対話

考える



震災・原子力災害の教訓を、未来にどう活かすか



ホープツーリズム「フィールドパートナー(FP)」について

▶ フィールドパートナー (FP)

ツアー中のアテンド、ファシリテートを担当。
リフレクションや、ワークショップなどを通し、
中立・客観的な立場から、参加者とともに、
学びの成果へと導く 総合案内人。



■ フィールドパートナーの役割

導く



インプット 中立・客観的立場

- 震災・原子力災害、復興に関する情報の伝達
- 施設等の見学後、現地の方々との対話後の情報整理、補足説明

→ 論点の明確化、多様な視点への展開

- 随所の問い立て・介入

→ 参加者の探究心や志向性を引き出すサポート

アウトプット 振り返り・ワークショップの企画・運営

ホープツーリズム「見る」の視点

見るへ施設見学・フィールドワーク

■地域の姿

▼帰還困難区域など原発事故がもたらした現状と前進する町並み



国道6号



富岡町・夜の森地区

▼避難指示解除後の地域など～復興への息吹や課題、日常の風景から感じること



双葉町・JR双葉駅周辺



富岡町・とみおかアーカイブ・ミュージアム

■震災・原発事故の概要や教訓、福島の実状を学ぶ施設



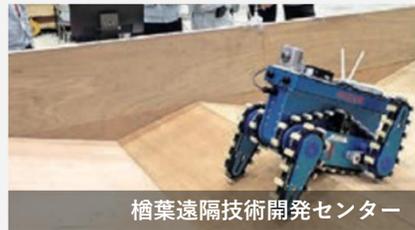
東日本大震災・原子力災害伝承館



震災遺構浪江町立請戸小学校

■復興を担う新しい産業

▼廃炉への技術開発



楢葉遠隔技術開発センター

▼災害用ロボット等の一大研究開発拠点



ロボットテストフィールド

▼再生エネルギーの推進



福島水素エネルギー研究フィールド

▼交流人口の拡大



Jヴィレッジ

■福島第一原発 福島第二原発



■中間貯蔵施設



▶復興に向け果敢にチャレンジする人々

震災、津波、原子力災害、風評等、未曾有の困難の中で、地域や将来のために果敢にチャレンジする人々との対話。

「対話」を通じた学び

豊富なテーマから
要望に応じて
対話者をコーディネート！

地域づくり

地域住民

農業

漁業

エネルギー

自治体

教育

医療

事業者

東京電力



震災の経験は防災にとどまらない
SSK行政書士事務所 代表
佐々木 邦浩 さん

震災時は避難所の運営から仮設住宅建設、富岡町災害復興計画(第二次)の策定に奔走。自らが経験した震災の教訓を未来につなげる取組みを行っている。



考えるきっかけを「語り人」から
(NPO)富岡町3.11を語る会 代表
青木 淑子 さん

自分たちの体験を自分たちの言葉で語ることで、富岡町の震災の事実と現状、原発事故が生活に及ぼした影響と、そこからの教訓を伝え続けている。

なぜ、「ふくしま」の学びが必要なのか

地震

津波

原発事故

長期の避難指示

地域再生の取組み

リスクマネジメント 危機管理 BCP

▼大震災の発生

- ・地震による倒壊
- ・津波による壊滅的被害
- ・原子力災害
- ・地域機能の停止
- ・事業活動の停止
- ・住民の避難

環境マネジメント 事業開発

▼環境汚染

- 放射線物質の拡散による
- ・生活圏の汚染
- ・海洋汚染、森林汚染
- ・除染土壌等
- ・中間貯蔵、最終処分
- ・風評被害

事業開発 省人化・省力化 地域貢献

▼人口の大幅な減少

- ・住民帰還率が低い
- ・帰町者は高齢者層が多い
- ・子どもの帰町が少ない
- ・労働力の低下
- ・崩壊したコミュニティ

事業開発 地域連携 地域貢献

▼産業衰退

- ・主要産業の喪失
- ・周辺産業の衰退
- ・消費財等の減少
- ・農林水産業の衰退
- ・商工業の衰退
- ・伝統産業の衰退

環境マネジメント サプライチェーン 事業開発 地域貢献

▼地域インフラ再整備

- ・交通機関の減少
- ・公共施設の減少
- ・商業施設の減少
- ・医療施設の減少
- ・観光施設の減少

▼エネルギー問題

- ・原発に依存からの脱却
- ・再生可能エネルギー
- ・代替エネルギーの課題

事業開発 地域貢献

▼福祉・教育の課題

- ・学校の統廃合
- ・少人数による学校教育
- ・福祉施設の減少
- ・教員・スタッフ減少

▼コミュニティ・歴史や伝統

- ・文化交流
- ・多様性の認識
- ・伝統産業の再生
- ・祭り・伝統芸能の継続

地域貢献 企業風土醸成

ふくしまのフィールドは**社会づくり**や**企業活動**との関連性が高い

なぜ、「ふくしま」の学びが必要なのか

▶東京電力 福島第一原子力発電所

▼ツアー参加者の声

原発事故は、電力業界だけの問題ではない。どの業界や企業でも起こり得ること。

あらゆる企業に生じ得る重大事故のリスクについての意識を学ぶことができた。

幅広い業種に親和性がある学びであるとともに、個人一人ひとりの意識の醸成にもつながる。

▶中間貯蔵施設

▼ツアー参加者の声

中間貯蔵施設の取組を見て、技術的に理論的に現実的な解を見出していると感じた。

そこまで見出せれば日本の企業は強い。

現実を直視して、それに向き合い、真剣に解を見出す。そのプロセスの重要性を、このツアーで実感した。

感染症対策、省人化、省力化の影響で研修のオンライン化が急激に進行…

ふくしまだけの
コンテンツ

ふくしまオンリーワンの学び・経験・出会い

交流人口拡大のその先

観光業のミッション＝交流人口の拡大

ゲストへ(ツアー参加者)

- ・ 震災の事実の伝達と伝承
- ・ 効果の高い学びの提供・共有
- ・ 意欲や関心への満足度向上
- ・ 自分事化による、意識変革を促す
- ・ 未来志向な視点を醸成

ホストへ(受入側)

- ・ 直接的な経済効果
- ・ 移住定住促進の導入＝まちづくりに寄与
- ・ 来県組織と受入組織の連携のきっかけづくり＝学習・産業の充実
- ・ フィールドパートナーの育成による、地域人材の育成＝福島の強み

適切なバランスが地域創生の一助

「福島になにができるか」ではなく「福島“から”なにができるか」

震災創生や被災地研修における協働モデル

